

2014年7月19日

企画委員会

第5回「私の主張の会」が開催されましたので、概要をご報告します。当日は当学会が継続的に発信しております「社会への提言」の中から、最近の2つの提言を取り上げて議論を行いました。参加者は12名で、2時間近くに渡り熱心な議論が交わされました。「社会への提言」をテーマとした「私の主張の会」は、これからも継続していく予定です。みなさま、奮ってご参加ください。

### 第5回「私の主張の会」概要について

1. 開催日時 2014年6月25日(水) 18:30~20:30
2. 開催場所 専修大学神田キャンパス 7号館 782教室
3. 取り上げた提言
  - ① 我が国におけるプライバシーの保護と個人情報の活用再考
  - ② 今こそ中堅・中小企業で情報システムの高度利用を！
4. 「社会への提言」と議論の概要
  - ① 「我が国におけるプライバシーの保護と個人情報の活用再考」

提言のポイント：

プライバシーの保護を進めながら個人情報をいかに活用するかを真剣に取り組む必要がある。全てを一律で取り扱うのではなく、あるものは十分に保護し、効果があるものは積極的に活用する必要がある。

参加者の発言要約：

- ・個人に関する情報で、保護すべきものとオープンにすべきものの区別をより明確にする必要がある
- ・国民総背番号制への反対の経緯には、政府に対する国民の信頼感がないことが一因だったのではないか
- ・現状は「なりすまし」が簡単にできてしまうことは問題（自動車免許更新など）
- ・個人がプライバシー情報を出すことに対するメリット感がないことが問題で、この部分を議論する必要がある。
- ・何事にもプラス面とマイナス面がある。誰にとってのメリット・デメリットかを明確にすべき
- ・「物理的な人」と「社会的な人」は別で考えることができる
- ・個人認証によって個人を特定することは必要。これにどんな情報を付加するかは別に考える必要がある
- ・今回は、税と社会保障を中心に活用しようとしているが、どんな政策を取るか

によって違ってくる。

- ・北欧の参加型システムデザインの考え方も有効ではないだろうか

② 「今こそ中堅・中小企業で情報システムの高度利用を！」

提言のポイント：

中堅・中小企業の生産性が向上しない要因に、情報システム投資の不足がある。  
クラウドコンピューティング登場は、中堅・中小企業に朗報である。団塊世代の  
IS 人材とのマッチングサービスが必要となってきた。

参加者の発言要約：

- ・中堅・中小企業での情報システム利用が進まない理由は、効果が見えにくい点
- ・クラウドサービスは値ごろ感はあるが、価格への信頼感が不足している
- ・IS コンサルタントの成果（人材の質をだれが保証するかが問題）マッチングサービスでそこを保証できるだろうか？
- ・IS 人材と言っても、SE なのか BPR のできる人材なのか？そもそもの企業が抱える問題を紐解ける人でなければダメ

③ 今後の提言のテーマについての意見

- ・最近毎日通勤電車が遅れるが、どういうシステムになっているのだろうか？  
（スピード優先、品質の劣化、システムの劣化）

以上

（作成者：甲斐荘正晃）